



今年の4月に実施された全国学力・学習状況調査(3年生で実施)の結果が、公表されています。三国中学校では、その結果をもとに、本校生徒の現状を分析しました。そして、県平均・全国平均との比較から見てきた課題を全教職員で共有し、学校全体で対策を進めていきたいと考えています。

国語

	全体	言葉や特徴 の使い方	情報の使い 方	我が国の言 語文化	話すこと・聞 くこと	書くこと	読むこと
県	▼	◇	—	—	▼	▽	▽
全国	◇	▽	—	—	▼	○	◇

県や全国と比較した本校の平均正答率(%)

◎ ≥ 2 2>○ ≥ 1 1>◇>-1 -1 $\geq$ ▽>-2 -2 $\geq$ ▼

国語における主な対策

- ・漢字を正しく書く力が定着しているので、引き続き漢字の小テストなど、理解度を確認する時間を設けます。
- ・文章の内容を読み取る力をつけるため、図や資料を用いた説明的文章の授業に特に時間をかけて、粘り強く取り組み、理解できる指導を行っていきます。
- ・文章を読んで内容を要約することができるように、読み取った内容をまとめる練習を多く設けていきます。

【良いところ】

- ・文脈に即して漢字を正しく書くなど、言語に関する理解が定着しています。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができています。
- ・表現の効果について、文章を根拠に読み取ることができています。

【課題】

- ・説明的文章で、文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する問題の理解度が低かったです。また、文章を要約する問題もあまりできていませんでした。
- ・記述の問題に取り組めていませんでした。

数学

	全体	数と式	図形	関数	データ 活用
県	▼	▼	▼	▼	▼
全国	▼	▼	▼	▽	▼

県や全国と比較した本校の平均正答率(%)

◎ ≥ 2 2>○ ≥ 1 1>◇>-1 -1 $\geq$ ▽>-2 -2 $\geq$ ▼

数学における主な対策

- ・新しく学んだことを既習事項とつなげ、知識を横断的に活用させていきます。
- ・授業内で理由や根拠を言葉や式で表す活動を日常的に取り入れていきます。

【良いところ】

- ・記述式の問題で無回答の割合が少なく、考えを表そうとする姿勢が定着していました。
- ・必ず起こる事柄の確率についての理解ができていました。

【課題】

- ・素数・相対度数・外角の大きさなど、数学的な用語の定義や意味を正確に理解して使いこなせていませんでした。
- ・反例を挙げたり、確率を根拠をもって説明したりするような論理的に整理して表現する問題ができていませんでした。

理科

	全体	エネルギー	粒子	生命	地球
県	▼	▼	▼	▼	▼
全国	◇	▼	◎	◇	▽

県や全国と比較した本校の平均正答率（％）

◎≥2 2>○≥1 1>◇>-1 -1≥▽>-2 -2≥▼

【良いところ】

- ・問題に意欲的に取り組み、解答率が高いです。
- ・粒子を柱とする領域の正答率が高いです。

【課題】

- ・県や全国と比較すると、エネルギーを柱とする領域や思考・判断・表現の選択問題に関する正答率が低く、条件制御に課題が見られます。

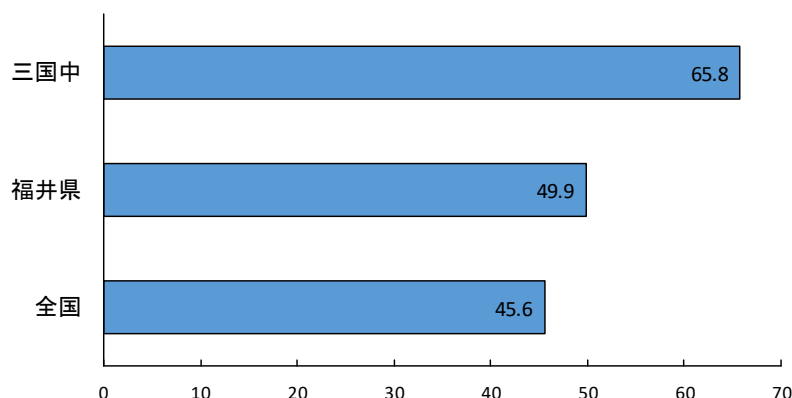
理科における主な対策

- ・実験器具の名称や使用法をしっかりとおさえ、実験の目的を明確にします。また、実験をするときにどのような条件で行うべきかを考えてから実験に取り組むように指導します。
- ・ホワイトボードやタブレットなどを用いて自分の考えをまとめる場面を取り入れ、表現力を高められるように取り組みます。
- ・授業の中で一問一答(タブレットや小テスト)や授業の振り返りを行い、学習内容が定着するように取り組みます。
- ・身近なものや生活の中の疑問を考えることで理科に関する興味や関心を高めるように取り組みます。

学習習慣と生活習慣の調査から見えてくる三中生

良いところ

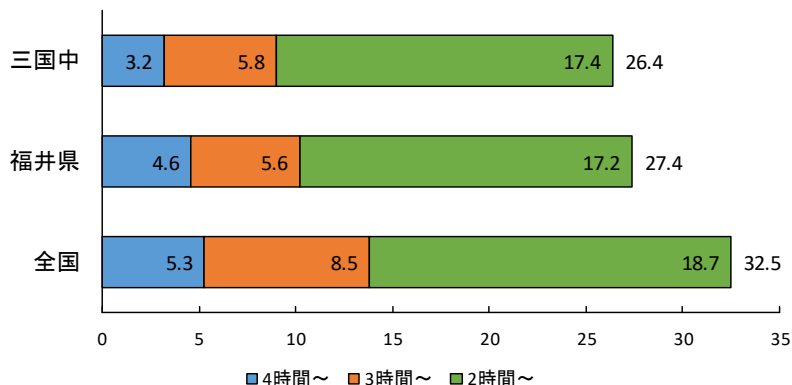
○学校に行くのは楽しいと思いますか（％）



※グラフは「当てはまる」と回答した生徒の割合を表しています。（「どちらかといえば、当てはまる」を加えると、本校は93.5%となります。）

課題が見られたところ

○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
（学習塾・家庭教師・インターネット活用での学習を含む）（％）



※グラフは「2時間以上」と回答した生徒の割合を表しています。